

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名 No. 700106 青少年補導員活動事業		主管課名 子育て支援											
	この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		課長名 小野田 猪之吉									
		施策	地域で青少年を支えるまち											
		基本事業	青少年の健全育成											
	(1)事業の概要													
	社会全体の問題の反映ともいえる青少年をめぐる問題の解決には、地域社会全体による、より積極的な健全育成活動、保護育成活動の推進は不可欠である。地域における青少年の非行防止のため、青少年補導員による補導活動を実施する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)										
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>街頭補導活動実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>全体会議・合同会議開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	街頭補導活動実施回数	回	全体会議・合同会議開催回数	回	その指標		
	名 称	単 位												
	街頭補導活動実施回数	回												
	全体会議・合同会議開催回数	回												
その指標														
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		定例街頭補導活動：毎週木曜日及び第3月曜日（10月～5月：16:00～18:00、6月～9月：17:00～19:00） ただし、祝日・年末年始及び最終木曜日を除く。 特別補導活動：三好池まつり、いいじゃんまつり 日常的な担当地区の見回り 全体会議：補導員の連絡調整。原則毎月最終木曜日及び合同会議（年3回）												
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容												
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)											
青少年			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>青少年人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	青少年人口	人	その指標					
名 称	単 位													
青少年人口	人													
その指標														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)											
青少年が問題行動をしなないようにさせる			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>補導員の注意件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	補導員の注意件数	件	その指標					
名 称	単 位													
補導員の注意件数	件													
その指標														
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)											
心身ともに健全に成長してもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>青少年補導員の定期巡回箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>心の電話の相談件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>成人式への出席率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所	心の電話の相談件数	件	成人式への出席率	%	その指標	
名 称	単 位													
青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所													
心の電話の相談件数	件													
成人式への出席率	%													
その指標														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標														
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値						
(5)の活動指標		回	48	48	48	48	48	48						
		回	12	12	12	12	12	12						
(6)の対象指標		人	13,942	13,955	14,055	14,155	14,255	14,355						
(7)の成果指標		件	60	60	60	60	60	60						
(8)の結果の成果指標		箇所	85	87	89	91	93	93						
		件	77	68	77	77	77	77						
		%	75	73	73	73	73	73						
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	02			
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値						
事業費(決算又は予算額)		単位	3,200	3,073	3,186	2,886	3,186	2,886						
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0						
	その他	千円	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	千円	3,200	3,073	3,186	2,886	3,186	2,886						
人件費 B		千円	3,320	1,917	1,917	1,917	1,917	1,917						
正職員従事時間×人数		時間×人	900×1	170×3	170×3	170×3	170×3	170×3						
正職員以外の人件費		千円												
その他費用 C		千円	264											
トータルコスト A+B+C		千円	6,784	4,990	5,103	4,803	5,103	4,803						
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	700106青少年補導員活動事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和54年度 から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
問題のある青少年の早期発見と早期補導、また、青少年の非行防止、危険防止及び環境浄化のため。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化し	青少年を取り巻く環境の悪化、青少年の非行行動が増加している。

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市青少年補導員設置規程
					理由	青少年の非行、犯罪や被害者になることの防止。
					内容	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	理由	
			結びつかない	→	理由	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	拡大	内容
			できない	→	縮小	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	追加	内容
		できない	→	絞込み		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容		
		多少影響がある				
		影響はない				
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	地域で自主的に青少年補導活動を実施してもらう。	
		できない				
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名		
		ない				庁内事業
					ある	内容
					ない	
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
		ない				
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない				
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	現状で適正		
		ない				→
		受益者がいない		内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	少年犯罪の増加傾向が懸念される中、限られた補導員の数では補導活動には限界がある。今後は、地区の自主防犯組織・青少年健全育成役員、ジュニアクラブ役員などとともに、非行化防止のみならず、非行の未然防止や非行からの被害防止をより積極的に取り組むことが必要となる。そのため、各行政区単位に2名程度の方が青少年補導活動に自主的に取り組んでもらえるよう補導用資材を配布し協力者を確保する。また、地域と学校がより連携を進めることが重要で、両者の関係の再編成のための協議が必要なる。					